

乳児棟で毎月行っている「避難訓練」を実施！～突然起きた地震を想定して～



11月25日(月)に、乳児棟で避難訓練を実施しました。毎月実施しているのですが、今回は「突然の地震」が発生して、どのように対処するかという訓練です。

10時20分に突然、主任教諭である熊倉先生の

「地震です。地震が発生しました。」という鋭い声が廊下に響き渡りました。

すると、バナナ組・メロン組のお友だちは、先生方の「テーブルの下にもぐって」「テーブルから頭が出ないように上手に隠して」などの指示にしっかりと反応し、素早く行動しました。

バナナ組のお友だちの中には、何が起きたのだろうと不安に思い泣き出す子もいました。しかし、先生方が分担して上手に泣いている子をなだめながらテーブルの下に移動させます。他の子がテーブルの下にいたので、泣いていた子も安心したのかすぐに泣き止むことができました。

いちご組のお友だちは、熊倉先生に抱っこされたり、広沢先生に頭を手で覆われたりして安全を確保されていました。泣き出す子もいません。

2～3分して、「揺れが収まりました。」という熊倉先生の声で、普段の保育活動に戻りました。

日本に住んでいる以上、必ずどこかで遭遇するのが地震です。そして、この地震こそが一番突発的に発生するものです。揺れを察知したら、先生は素早く子ども達に机やテーブルの下に身体を隠すように指示し、体の一部が身を隠す物

(テーブルなど)から出てないかを全体を見渡しチェックする必要があります。今回も先生方は役割を分担し、しっかりと子ども達の安全を確保することができたと感じました。また、いざという時のために「扉、ドア」を開けておくことも大切なことですが、そのことも守られていたと感じました。【写真】上から「メロン組」→「バナナ組」→「いちご組」の様子です。

※個人情報の観点から、避難訓練の写真には軽くモザイクをかけました。

